

OSラスコート 施工要領

1. 用途

建物内外及びコンクリート構造物の爆裂欠損補修専用の防錆プライマーです。

2. 素地調整

塗布面の浮き錆、劣化した塗膜等は、ワイヤーブラシ、ハンマー、サンダー等の工具(電動)を用いて除去してください。(第2種ケレン程度)

3. 塗布作業

- 1) OS ラスコートは、使用前にはよく容器を振って、ポリ容器に入れ、原液でご使用してください。

※容器より取り出した材料を入れる容器は、金属性のものを使用しないでください。

- 2) 刷毛、またはローラーで、2回塗りをしてください。(標準塗布量:0.15 kg/m²/2回)
- 3) OS ラスコートの乾燥が速く、被塗面の泡が消えずに、ピンホールになることがあります。その際は、必ず後でタッチアップ補修をしてください。
- 4) 塗布後 15~30 分程度で、鉄表面が黒紫色に変色し、さらに 2 時間程度で指触硬化します。
- 5) OS ラスコート硬化後は断面修復の施工手順に従ってください。

※OS ラスコートの塗布量は、1回目 75g/m²、2回目 75g/m²が目安ですが、錆の程度によって変わります。

※黒紫色に変化しない場合がありますが、防錆上問題はありません。

※OS ラスコート塗布間隔:2 時間以上(指触硬化後)(24°C70RH)

※使用器具:刷毛またはローラー

※次工程(断面修復)への塗布間隔:12 時間以上

4. 注意事項

- 1) 必要量を取り出してご使用ください、使い残した材料は元の容器に戻さないでください。
- 2) 5°C~35°C以外になる場所で保管しないでください。密栓の上、直射日光や高温多湿の場所を避け凍結しないよう冷暗所で保存してください。
- 3) 5°C未満、湿度 80%以上又は結露の発生が考えられる場合は使用を避けてください。
- 4) コンクリート面に OS ラスコートが付着しないように養生してください。
- 5) OS ラスコート塗布後に降雨・結露・夜露等の影響を受けますと、樹脂成分が溶出する場合がありますのでご注意ください。

※本商品の安全取り扱い上の詳しい注意事項が必要なときは、安全データシート(SDS)をご請求ください。

※製品改良のため予告なしに仕様等を変更する場合があります。予めご了承ください。